



# イスラエルのための祈り 食糧支援の真実

2024/4/8 恵比寿マンデー

## メディアによる印象操作の例 毎日新聞 4/7配信記事

昨年10月7日に始まったイスラエルと、パレスチナ自治区ガザ地区を支配するイスラム組織ハマスの戦闘の半年を、データで振り返る。

戦前、ガザには平日は1日平均500台のトラックが入り、食料や生活必需品を届けていた。ところが戦闘開始後、イスラエルは「軍事物資の流入を防ぐ」としてガザを「完全封鎖」。その後徐々に搬入を認めるようになったが、現在でも戦前の3分の1ほどの水準にとどまっている。

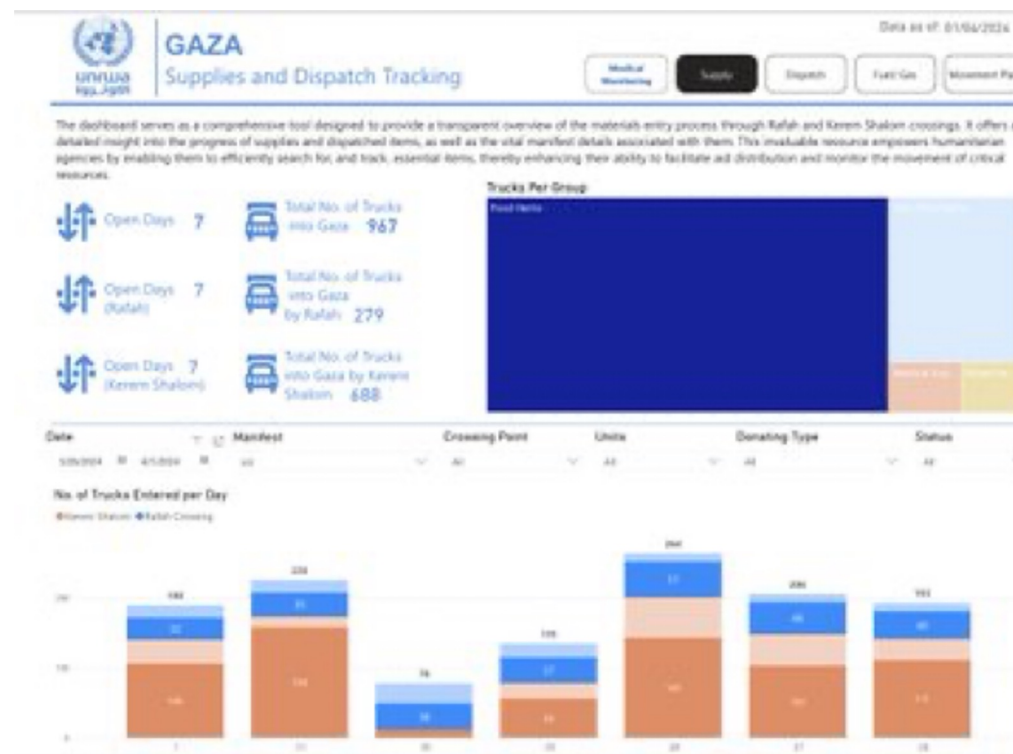
物資不足は特にトラック搬入口がない北部で深刻だ。イスラエルは今月、国際的な批判を受けてガザ北部の検問所からも物資の搬入を認める方針を決めた。

# 国連のデータで証明されるメディアの偽り

@UNRWAはガザでの「差し迫った飢餓」を世界に説得しようとしているが、この団体のデータによると、先週、967台の食糧支援トラックがガザに入ったことが示されている。

1日あたり138台の食糧支援トラック

ハマスが10月7日にイスラエルに宣戦布告する前の月、国連のデータによると、1日に入ってきた食糧支援トラックはわずか約73台。



Eylon Levy イスラエル政府 元  
スポークスマン 24/4/3

# 現地報告      Ted Deutch 氏      米国ユダヤ人委員会CEO

数日前、私はイスラエル南部のニツァナ検問所を訪問した。毎日200台以上のトラックが、小麦粉や食糧、その他の人道支援物資をイスラエルからエジプトを經由してガザに運んでいる。

昨日、240台のトラックが317万kgの食糧をガザに運び、イスラエル政府はアショド港とエレッツ検問所を開放し、ガザ北部を含むガザへの援助物資の量を増やした。イスラエルは、援助を阻止しようとするハマスの動きに対抗し、米国と協力して民間人への援助を引き続き行っていく。

それが事実である。



# イスラエルのための祈り

- ① 情報戦という戦場においても 一般メディアを通して 反イスラエル、反ユダヤ的情報操作が行われている。誤った情報による反イスラエルの国際世論や風潮が 高まることのないように。攻撃を受けながらも ガザ市民のため 食糧などの支援物資をガザに送るイスラエルの人道的行動が 広く知られるように。
- ② 戦争開始から半年が経過。未だに百人以上の人質が拘束されている。一刻も早く全員が解放されるように。
- ③ 戦争が長引く中、兄弟姉妹であるメシアニック・ジューの方々の信仰が強められ 霊肉守られるように。